

## 梅屋庄吉認知度等調査結果【担当課：文化振興・世界遺産課】

(アンケート期間) 令和8年1月16日～1月29日(14日間)

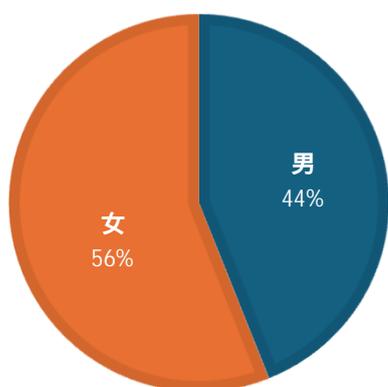
(調査の目的)

長崎県出身の実業家・梅屋庄吉の県内での認知度を調査し、これまでの取組の検証と今後の施策に役立てるもの

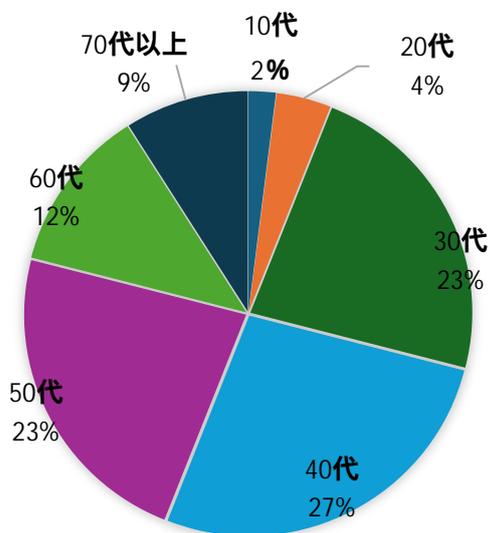
(調査対象) ながさきWEB県政アンケート全モニター345名

(回答状況) 回答者 234名(回答率67.8%)

(回答の属性)

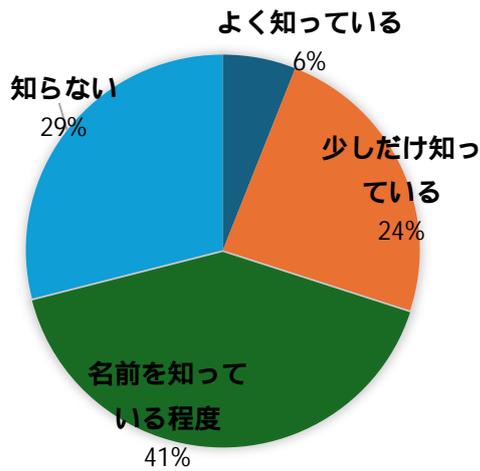


区分	人数	構成比
男	102	44%
女	132	56%
計	234	100%



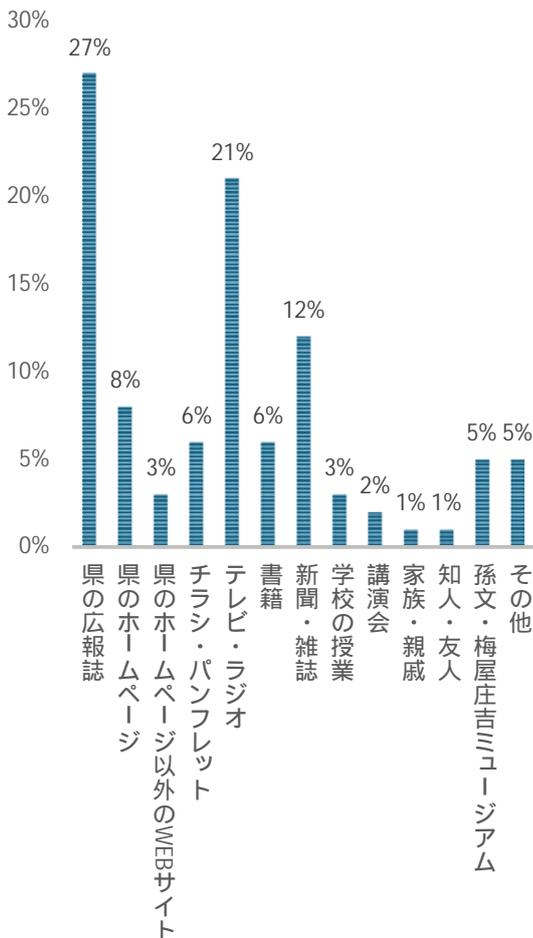
区分	人数	構成比
10代	4	2%
20代	10	4%
30代	54	23%
40代	62	27%
50代	54	23%
60代	29	12%
70代以上	21	9%
計	234	100%

Q1) 中国辛亥革命の指導者・孫文を物心両面で支えた長崎県出身の梅屋庄吉のことを知っていますか。



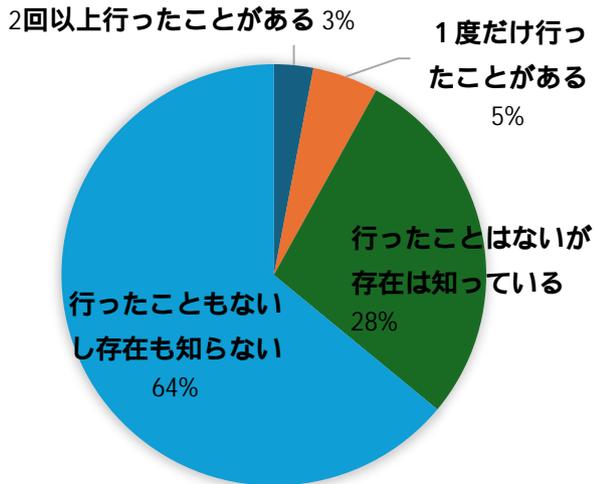
選択肢	回答者数	構成比
1 よく知っている	14	6%
2 少しだけ知っている	56	24%
3 名前を知っている程度	96	41%
4 知らない	68	29%
計	234	100%

Q2) Q1で「知っている」と回答された方にお尋ねします。どこで梅屋庄吉のことを知りましたか。(複数回答可)



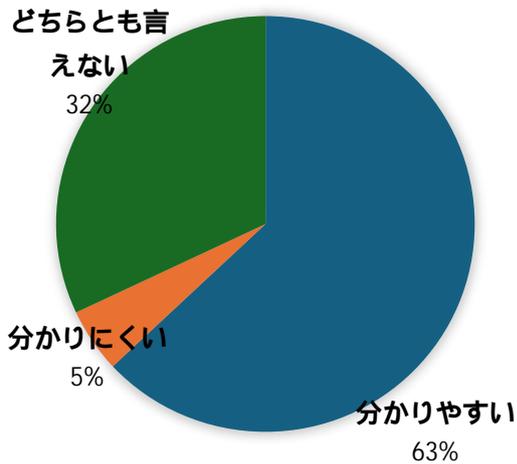
選択肢	回答数	割合
1 県の広報誌	73	27%
2 県のホームページ	22	8%
3 県のホームページ以外のWEBサイト	8	3%
4 チラシ・パンフレット	16	6%
5 テレビ・ラジオ	55	21%
6 書籍	17	6%
7 新聞・雑誌	31	12%
8 学校の授業	7	3%
9 講演会	5	2%
10 家族・親戚	2	1%
11 知人・友人	3	1%
12 孫文・梅屋庄吉ミュージアム	15	5%
13 その他	13	5%
回答対象者	267	100%

Q3) 「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム」へ行ったことがありますか。



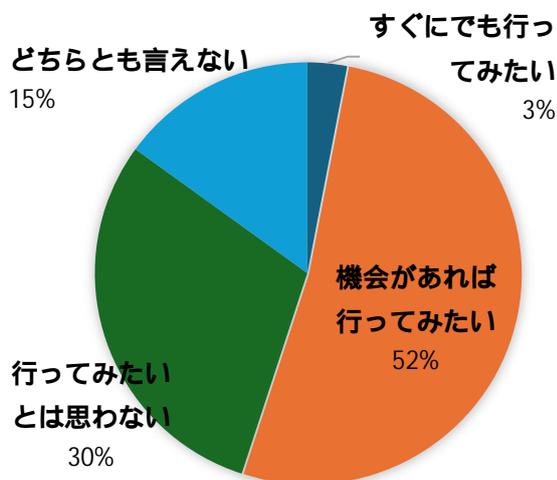
選択肢	回答者数	割合
1 2回以上行ったことがある	6	3%
2 1度だけ行ったことがある	13	5%
3 行ったことはないが存在は知っている	66	28%
4 行ったこともないし存在も知らない	149	64%
計	234	100%

Q4) Q3で「行ったことがある」と回答した方へお尋ねします。ミュージアムの展示内容は伝わりやすかったですか。



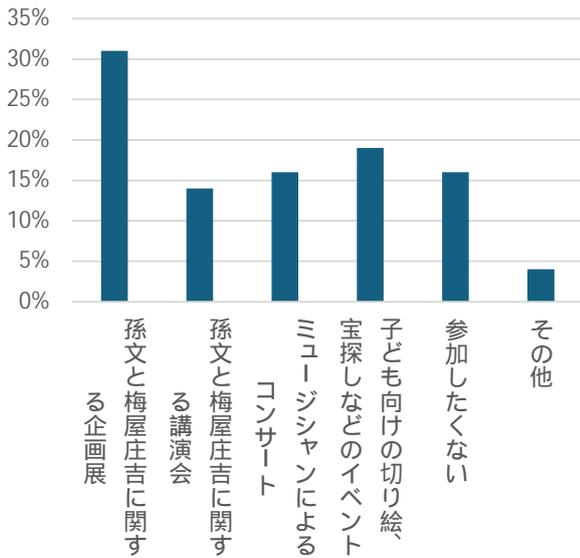
選択肢	回答数	割合
1 分かりやすい	12	63%
2 分かりにくい	1	5%
3 どちらとも言えない	6	32%
4 その他	0	0%
回答対象者	19	100%

Q5) Q3で「行ったことがない」と回答された方にお尋ねします。今後、ミュージアムに行ってみたいと思いますか。



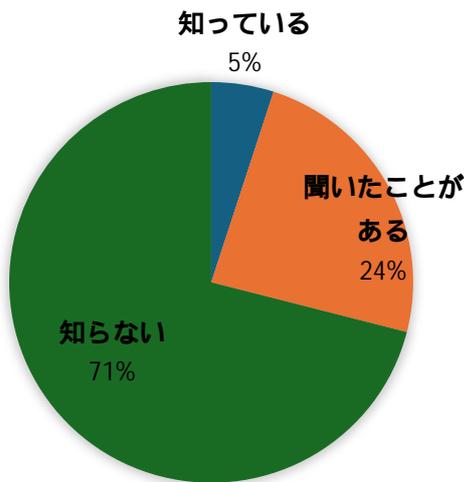
選択肢	回答数	割合
1 すぐにでも行ってみたい	7	3%
2 機会があれば行ってみたい	112	52%
3 行ってみたいとは思わない	64	30%
4 どちらとも言えない	32	15%
回答対象者	215	100%

Q6 今後どのようなイベントがあれば参加したいと思いますか。(複数回答可)



選択肢	回答数	割合
1 孫文と梅屋庄吉に関する企画展	91	31%
2 孫文と梅屋庄吉に関する講演会	41	14%
3 ミュージシャンによるコンサート	49	16%
4 子ども向けの切り絵、宝探しなどのイベント	55	19%
5 参加したくない	49	16%
6 その他	12	4%
回答対象者	297	100%

Q7) 長崎県は、辛亥革命はじまりの地である中国湖北省と友好交流協定を締結していることをご存知ですか。



選択肢	回答数	割合
1 知っている	12	5%
2 聞いたことがある	57	24%
3 知らない	165	71%
計	234	100%

Q8) 孫文と梅屋庄吉に関する県の取組についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

(主なご意見)

- ・長崎には有名な歴史上の人物が多いので、一覧図のようなわかりやすいパンフレットなどがあればよい。
- ・どちらも名前は知っているが、どのような関わりがあったか詳しく知らないので、機会があれば学びたいです。国際交流を図ったり、学校で講演会なども行ったりしているのに、知らない人が多いと思うので、せっかく良い取り組みをされているのにもったいないと感じます。
- ・歴史の方々の功績、長崎に関係する恩恵を受けている事を知らなければいけないと思いました。

- ・ 孫文と交流のあった国内外の人物のゆかりある町との連携で、長崎市だけに留まらない幅広い繋がりとするのはいかがでしょうか。今の人の行き交い、会話、交流が大事だと思います。中高生の若い人たちを主にした派遣、迎え出が波及効果、継続性のうえでより良いと考えます。
- ・ 他県の方よりも意外と長崎県民自体の方が知られていないのではないのでしょうか。数年前にテレビの方で見た記憶がありますが、資料館も旧香港上海銀行長崎支店と孫文、梅谷庄吉の関連があるわけではなく...何かイメージが散逸してしまっていると感じますね。
- ・ 歌にしたりネットを利用すると子ども達が知り、親も知り、広まると思う。
- ・ 孫文と梅屋庄吉について、もう少し勉強しなければならないと思っています。
- ・ 大型クルーズ船が着くすぐ近くにミュージアムの旧香港上海銀行記念館があるのだから、中国の客船（今は少なくなったが）が着いたらミュージアムを見てもらうような誘導ができないでしょうか。中国の人にも知ってもらいたいですね。
- ・ 中国との交流が長崎の重要な歴史の一つであることが、世界に認知してほしいです。梅屋庄吉が、私財を投じて孫文の中国革命を支えたという事実は、もっとPRすべき歴史的資産だと思います。また彼が日活の創業者の一人だったことを考えると、ぜひ映画化かドラマ化をしてほしいと思いますし、県としても後押しをするべきだと思います。漫画にしてもいいと思います。ミュージアムには行ったことがないので、どういう展示がしてあるのかわかりませんが、彼がどうやって資金を作りその資金を革命に投じていったのか、その辺を深掘して展示してほしいと思います。
- ・ 私が住んでいる近くに彼の奥さんだった梅屋トクさんの実家跡の碑があります。今回のアンケートで彼のことを調べてはじめて奥さんのことも知りました。なんにしてもこんな素晴らしい話を現状全く利用していないのは、県としてまた日本として大きな損失です。ぜひ大々的にPRしてほしいと思います。
- ・ 長崎の歴史、交流について学ぶ機会があるとさらにいろんな魅力につながっていくと思います。知らないことを知りたいと思えるように。
- ・ TV、新聞、ラジオ等でもっと多く宣伝して欲しい。2人の関係を知らない人が多いのではないかと思う。特にTVで宣伝して欲しい。長崎で活躍した「坂本龍馬」と同じくらいにPRして欲しい。PRに長崎県出身のタレントに出演してもらう方法等。少し経費はかさみますが、一つのアイデアとして。
- ・ 以前、梅屋庄吉の紹介を新聞で見かけたことがある。それまでは知らなかったので、長崎にそんな立派な人が居たのかと、感動した記憶がある。それから深く調べることもなかったので、自分の勉強足らずなことを恥ずかしく思う。これを機に、ぜひミュージアムをぜひ訪れてみようと思う。
- ・ 一部の歴史愛好家には関心を持たれるかもしれませんが、通常の観光客には今一つピンとこない人物であり、観光につなげる諸々の企画は困難と思われるので、もっと多くの人に関心を持ってもらえる企画と合わせての計画が良いかと思います。
- ・ 長崎の偉人にまつわる資料やスポットを掘り起こし、観光都市としてのコンテンツ・魅力を増やすことは非常に大切だと思います。

- ・ 現在日本と中国は良い関係とは言えない状況のなか思ったのは、国境を越えての孫文と梅屋庄吉の助け合いや友情をみんな知って見習うべきではないかなということでした。私も含め多くの方は孫文と梅屋庄吉についてあまり知らないかなと思います。難しく語るとか堅苦しく展示するとかでなく、誰でも気軽に参加して知るきっかけを作っていただければと思いました。
- ・ 孫文と梅屋庄吉の関係は、日本と中国の近代史を理解する上で非常に重要であり、特に民間レベルでの国際交流や支援の在り方を示す貴重な歴史的事例であると考えます。県としてこのテーマを継続的に発信している点は大変意義深く、評価できます。一方で、一般県民、特に若い世代にとっては人物や背景がやや難解に感じられる側面もあるため、展示や広報においては映像コンテンツやストーリー性を重視した分かりやすい解説、学校教育や観光施策との連携をさらに強化していただきたいと思います。また、県外・海外に向けた情報発信も積極的に行うことで、地域の歴史的価値と国際性をより広く共有できる取組となることを期待します。
- ・ オンラインでも参加できるイベントが今後あると嬉しいです。
- ・ かつて、東京日比谷公園内の「松本楼」を訪れ、興味深い話も聞かせてもらった。孫文と梅屋との交流の歴史を知ることで、日本・中国間の相互理解につながることもあると思う。梅屋庄吉への関心が再度深まるよう、イベントなどもさらに活発に行われれば良いと思う。
- ・ 孫文さんと梅屋庄吉さんの繋がりを県全体で周知してほしい。そのためには県独自の幼児教育を実施して県民全体に知らせてほしい。
- ・ 孫文と梅屋庄吉のことは数年前に聞いたことがありました。中国との関係が悪化する今日、イベントなどで交流することは大事なことだと思います。
- ・ 新聞記事で見かけますが、興味がない人には気が付いてもらえないと思う。紙幣に印刷されたり、ドラマになれば多くの方が興味を持つと思う。